

【 当院のがん治療について 】

1. 手術療法

がんを手術で取り除く治療です

手術療法は、がんのある部分を手術によって取り除く治療です。

がんの種類や大きさ、広がりなどに応じて、手術方法を検討します。当院では、開腹手術だけでなく、腹腔鏡手術・胸腔鏡手術・手術支援ロボット「ダヴィンチ」などを用いた手術にも取り組んでいます。

胃がん・大腸がんなどでは、病状に応じて腹腔鏡手術と開腹手術を使い分けています。また、食道がんや肺がんなどでは胸腔鏡を用いた手術にも取り組んでいます。

手術療法の特徴

- がんを直接取り除くことを目指します
 - がんの種類・進行度に応じて手術方法を選択します
 - 腹腔鏡・胸腔鏡など、身体への負担を抑える手術にも取り組んでいます
 - 手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使用した手術にも対応しています
 - 必要に応じて、手術後の化学療法や放射線療法を組み合わせます
-

2. 化学療法（薬物療法）

抗がん剤などの薬を使って、がんを治療します

化学療法は、抗がん剤などの薬を使用して、がん細胞の増殖を抑えたり、がん細胞を攻撃したりする治療です。

手術の前後に行うことで再発を防ぐことを目的としたり、手術が難しい進行がんや再発がんに対して行ったりするなど、患者様の病状に応じて治療方法を検討します。

がんの種類によっては、抗がん剤だけでなく、**分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、ホルモン療法**などを組み合わせることもあります。

当院では、外来化学療法にも対応しており、患者様の生活への影響をできるだけ抑えながら治療を継続できる体制を整えています。

化学療法の特徴

- 抗がん剤などの薬を使って全身のがんを治療します
 - 手術前後の治療として行う場合があります
 - 進行がんや再発がんの治療にも用いられます
 - がんの種類によって、分子標的薬や免疫療法、ホルモン療法などを組み合わせます
 - 薬剤師・看護師などと連携し、副作用への対応にも取り組んでいます
-

3. 放射線療法

放射線をがん照射して治療します

放射線療法は、がんのある部分に放射線を照射し、がん細胞を小さくしたり、増殖を抑えたりする治療です。

手術と組み合わせて再発を防ぐことを目的としたり、手術が難しい場合の治療として行ったりするほか、がんによる痛みなどの症状を和らげる目的で行われることもあります。

当院では、高エネルギー放射線治療、強度変調放射線治療（IMRT）、画像誘導放射線治療（IGRT）、定位放射線治療などに対応しています。

乳がんでは、手術後の放射線治療や再発した病変に対する放射線治療にも対応しています。

放射線療法の特徴

- がんのある場所を中心に放射線を照射します
- 手術と組み合わせて治療することがあります
- 手術が難しい場合の治療として行うことがあります
- がんによる痛みなどの症状を和らげる目的でも行われます
- 患者様の状態に応じて、適切な照射方法を検討します

4. 「集学的治療」について

がん治療では、手術だけ、薬だけ、放射線だけというように、ひとつの治療法だけで治療するとは限りません。

手術療法 + 化学療法

手術療法 + 放射線療法

化学療法 + 放射線療法

手術療法 + 化学療法 + 放射線療法

など、がんの種類や進行度に応じて治療を組み合わせることがあります。

新久喜総合病院では、患者様一人ひとりの状態に合わせた治療を検討するチーム医療に取り組んでいます。

5. がん治療の相談について

がんと診断されたとき、

「どのような治療をするのだろう」

「手術は必要なのだろうか」

「抗がん剤の副作用が心配」

「放射線治療について知りたい」

など、さまざまな不安や疑問があると思います。

新久喜総合病院では、患者様やご家族の不安や疑問に寄り添いながら、がん相談支援、診

断から治療、治療後のフォロー、緩和ケアまで、切れ目のないがん診療を目指しています。

治療について分からないことや不安なことがありましたら、主治医やスタッフへお気軽にご相談ください。